

民主島根

2016年
11.20
第1275号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

原発ゼロ、学力テスト中止、地域公共交通維持など 党県委が6省庁に対し政府交渉

大平衆議院議員、党地方議員ら15名が迫る

日本共産党島根県委員会は14、15の両日、政府交渉を行い、6省庁に対し、28項目の県民要求を突きつけました。尾村利成、大國陽介両県議をはじめ、島根県各市議ら15人が参加。大平喜信衆議院議員が同席しました。

原子力規制委員会に対し、参加者は、山陰地方で確認されたひずみ集中帯や島根半島の地震性隆起現象の徹底調査を要求。中国電力に対し、活断層の徹底調査と震源断層に迫る広域的な地下深部構造の解明を指示し、基準地震動の厳正な審査を行うよう求めました。原子力規制庁原子力規制部の担当者は「中国電力は謙虚な姿勢で調査すべ



申し入れ書を手渡す尾村・大國県議ら(写真上=衆院第2議員会館) 活断層の徹底調査を求める参加者(写真右下=原子力規制委)

き。規制委として、正確なる地震動評価を行いたい」と答えました。文部科学省には、全国学力テストの学校別結果の公表や答案用紙の自校採点が、教育現場と子どもたちを過度な競争に駆り立て、弊害を招いていると告発し、学力テストの中止を求めました。担当者が「学力テストは教育施策や教育指導の改善

米軍低空飛行中止・島根原発廃炉

中国5県の党議員らが要請

中国5県の日本共産党議員らが9日、米軍岩国基地への最新鋭ステルス戦闘機F35Bの配備や空母艦載機移駐の中止、島根原発の廃炉などを求め、広島市の中国四国防

衛局と中国電力本社に要請しました。島根からは片寄直行、橘祥朗、吉儀敬子の松江市議、多田伸治、森川佳英の両江津市議、安達美津子益田市議、大和磨美邑南町議、後藤由美、吉井安見の両出雲市議予定候補が参加。防衛局では、米軍機の低空飛行訓練の中止を米

国に求めるよう要求。参加者は、「確かな学力を保障するためには、教育環境の改善こそ必要だ」と迫りました。国保の都道府県化や待機児童解消などを厚生労働省に、米軍機の低空飛行訓練中止を防衛省に、TPP承認撤回と農業再生を農林水産省に、地域公共交通の維持を国土交通省に要請しました。

日本共産党を語るつどい

11月23日(水・祝)

弁士

衆院議員(比例中国)

大平 喜信



●午前10時～ 県民会館大会議室

ごあいさつ

たちばな 祥朗 松江市議

吉儀 けい子 松江市議

田中 はじめ 松江市議予定候補

●午後2時～ 出雲市民会館301

ごあいさつ

井原 ゆう 出雲市議

ごとう 由美 出雲市議予定候補

吉井 やすみ 出雲市議予定候補



加者は、F35が9月と10月に米本土で事故を起こしている指摘し、「事故が起きていることは重大で配備計画は見直すべき」と強調しました。

雲南 上代かずみさん、初当選 無投票で党1議席を回復

6日告示された雲南市議選(定数22)で、日本共産党の上代かずみさん(58)が無投票で初当選を果たしました。昨年11月に多賀三雄市議が亡くなり、空白と

なっていた党議席を回復しました。上代さんは国保料の1世帯1万円の引き下げ、介護サービスの充実、住宅リフォーム助成の拡充などを訴えました。

中電に対しては、島根原発の全ての原子炉を廃炉にすることや上関原発(山口県上関町)の建設計画を中止するよう求めました。(写真) 片寄松江市議は、県議団と市議団の調査で原発周辺の地震性隆起の実態が明らかになったとし、「地下構造を徹底して調査してほしい」と迫りました。中電の担当者は、島根原発を「早期再稼働に向けて取り組む」、上関原発は「3年後までに(建設予定地)を埋め立てたい」と強弁しました。

鼓動

「ノーマル、ハイポジション、メタル」「A面、B面」といった言葉を聞かなくなってきたが、「今、カセットテープがブーム」という。レトロでアナログな音質や魅力が再評価され、注目が集まっている▼音楽ひとつを聞くにしても、かつてはレコードやカセットテープだったのが、CDやMDへと形式が変わり、現在ではスマホやiPodなどのMP3プレイヤーが主流となった。その結果、2001年までにメタルポジション用カセットテープが生産中止になり、ハイポジション用も2011年までに生産中止となり、その役目を終えることになった▼デジタル音源だと、レコードやカセットテープと違ってかさばらないうえ、いつでも音質が変わらないメリットがある。私自身、便利さから、スマホなどで音楽を聴くことも多く、重宝している▼カセットテープが注目を浴びる背景には、カセットテープから聴こえるちよつとしたノイズや温かみのある耳障り、劣化してゆく風合いにやすらぎを求める人が増えたことにある。また、定額で好きな曲を何万曲も聴ける音楽配信サービスの普及で、安価で聴きやすい状況ができたのに、有り難みが損なわれると、音楽を聴くことから離れる人も生まれてきているという。これに対し、曲をスキップできないカセットテープではA面の1曲目からB面の最後まで音楽と対峙することになる。昨年、松田聖子が新譜をカセットテープで発売するなどアーティスト側にも動きは広がっている▼人は先に進みすぎるとノスタルジックな過去に回帰したくなる傾向があるのか、カセットテープの良さを再発見してみてもいいだろうか。(遠)

保強 美保 岩国基地

戦争法発動と一体のもの

小泉 責任者 が岩国・境港で講演

日本政府による「米軍再編」で極東最大の基地に強化される岩国基地、C2輸送機に続き、空中給油機が配備されようとしている航空自衛隊美保基地―戦争法のもとで中国地方でも軍備強化が狙われています。日本共産党などは、小泉親司・党基地対策委員会責任者を講師に、2日に山口県岩国市で、12日には鳥取県境港市で学習会を開催しました。島根からも多くの地方議員らが参加しました。

岩国基地の現状を調査・学習

島根から地方議員ら 7人が参加

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所は2日、米軍岩国基地がある山口県岩国市で「基地問題学習会」を開きました。中国5県の党地方議員ら約70人が集い、島根からは、西村健浜田市議、山口節雄川本町議、川西明徳奥出雲町議など7人が参加しました。小泉氏は「戦争法の発動と一体に全国で基地強化が進められている」と



小泉氏の講演に耳を傾ける党地方議員ら（写真上）
爆音で飛行する米軍機を視察する参加者（写真下）

美保基地・空中給油機の危険学

尾村・大國県議、後藤県委員長ら

航空自衛隊美保基地に空中給油機KC-46Aの配備が計画されている問題で12日、美保基地のある鳥取県境港市で「空中給油機問題学習会」（同実行委員会主催）が開催されました。（写真）



小泉氏は「戦争法下で

し、F35Bやオスプレイへの給油訓練もできるようになる」（鳥取県）な

どが発言がありました。参加者は、岩国基地を視察しました。

美保基地への空中給油機配備がもたらすもの」と題して講演しました。小泉氏は、辺野古、高江での基地強化・拡大や南スーダンでの駆けつけ警護、日本の軍備増強と自衛隊基地の増強など、戦争法が強行されて1年が経過した各地の状況を報告しました。

沖縄支援と連帯を考える学習会

島根革新懇 小泉氏と意見交換

島根革新懇は13日、松江市で小泉親司・党基地対策委員会責任者を迎え、沖縄・基地問題の情勢と課題についての学習会を開きました。

小泉氏は、沖縄の米軍北部訓練場の部分返還について「安倍首相は部分返還を沖縄の基地負担軽減

機はいらない』の一点での共同のたたかいを大きく

広げていこう」と呼びかけました。

安全・安心の医療、介護の実現を

医労連が県知事あてに要請

鳥根県医労連（森山篤士執行委員長）は15日、溝

口善兵衛知事あてに「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める」要請書を手渡し（写真）、県に申し入れました。看護師や介護福祉士など10名が参加しました。



要請では、▽1日8時間以内を基本に労働時間の上限規制や夜勤回数制限など労働環境改善▽夜勤交替制労働者の労働時間短縮▽介護施設などの

1人夜勤の早期解消▽安全・安心の医療・介護実現のため、医師、看護師、医療技術者、介護職員の増員などを求めました。参加者は、「看護職員の労働実態調査」（2013年・日本医労連）で、「慢性疲労」と「仕事を辞めた」と思う」が7割に達し、「ミス・ニアミスの経験がある」が8割にも及んでいる現場の実態を語りました。その上で、すべての医療機関に対して勤務環境改善に向けた取り組みの実施を促すことや、医療従事者の勤務環境改善に必要な予算を確保するよう要望しました。

地域の話題

松江 水上飛行機飛行 橋議員が調査

松江市が誘致を検討している中海・本庄水域を活用しての水上飛行機による調査飛行が10月29、30の両日、実施されました。飛行ルートの検討や騒音調査などが目的。本庄、八東地区の自治会や漁協、地元議員など24名が搭乗し、水上での離着水や検討されている島根半島や松江市上空などの飛行コースを回りました。

日本共産党の橋祥朗議員は「中海の活用、新たな観光は重要課題だが、仮設栈橋だけでも600万円かかる。騒音や生態系への影響についても、長期的な

調査が必要で、地域にどのようなメリットがあるのか、地域住民の理解が何よりも第一」と語っています。（「新しい松江」より）

津 浅利・舟津川改修を 多田議員が要求

多田議員―7月3日の豪雨で、浅利町宮町では舟津川の増水によって床下浸水が生じた。すでに決定している護岸かさ上げの早期実施と合わせ、舟津川へ流入する水量を減少させる必要がある。舟津川には、浅利隧道に続く峠の水が流入しているが、以前は別の水路があった。可能ならば、水の流れを元に戻すことを提案するがどうか。

飯 乗り合いタクシー 運行始まる

9月町議会において、「デマンド型乗り合いタクシー」の運行に関する条例が制定されました。10月20日から運行が開始されています。タクシーは、頓原地域、来島地域で先行して実証運行されます。運行方法は、可能な限り、自宅から乗降場所まで、帰りは乗降場所から自宅までの運行になります。乗降場所は区域によって指定されて